

沼田町化石館年報

Annual report of Numata Fossil Museum

第 24 号

Volume 24

令和 6（2024）年度

The year of 2024

2025 年 9 月印刷

Published in 2025 september.

目次

1. 沼田町化石館の概要

- 1－1. 沿革
- 1－2. 設置目的
- 1－3. 利用案内
- 1－4. 施設内容

【2024 年度】

2. 事業

2－1. 展示

- (1) 常設展示
- (2) 企画展
- (3) 特別展
- (4) 展示協力

2－2. 教育普及

- (1) 化石採取会
- (2) ジュニア化石クラブ
- (3) 学校等団体受入れ
- (4) 町内における普及活動
- (5) 体験メニュー
- (6) 講演

2－3. 広報出版活動

2－4. 研究

2－5. 資料管理

3. 管理運営

3－1. 化石体験館利用状況

3－2. 組織と職員

1. 沼田町化石館の概要

1-1. 沿革

1985 年	2010 年
9 月 沼田歯鯨会設立.	8 月 化石体験館個人有料入館者数 5,000 人達成 (8/2) .
1988 年	2015 年
5 月 沼田町歯鯨会を沼田町化石研究会に改称.	4 月 田中嘉寛学芸員が着任.
1992 年	5 月 化石体験館個人有料入館者数 15,000 人達成.
4 月 沼田町自然史研究室を開設. 古澤仁学芸員着任.	2017 年
1998 年	3 月 田中嘉寛学芸員が離任.
4 月 古澤仁学芸員が離任し篠原暁学芸員着任.	4 月 松井佳祐学芸員が着任.
1999 年	田中嘉寛博士が特別学芸員に着任.
12 月 自然史研究室を取り壊しのため閉鎖. 旧社会福祉センターを沼田町化石館として移転.	5 月 化石体験館個人有料入館者数 20,000 人達成.
2000 年	2018 年
4 月 沼田町化石館オープン.	9 月 「沼田町化石体験館開館 10 周年記念イベント vol. 1 恐竜復元教室」を開催.
9 月 新属新種の化石ヌマタネズミイルカ <i>Numataphocoena yamashitai</i> が発表される.	10 月 「沼田町化石体験館開館 10 周年記念イベント vol. 2 化石博士集合」を開催. ヌマタネズミイルカが北海道の天然記念物に指定される.
2001 年	2019 年
4 月 篠原暁学芸員離任し山下茂指導員着任.	1 月 新属新種の化石ヌマタナガスクジラ <i>Miobalaenoptera numataensis</i> が発表される.
2003 年	2 月 篠原暁学芸員が離任.
8 月 山下茂指導員離任.	5 月 ヌマタネズミイルカ北海道天然記念物指定記念事業として、福井県立恐竜博物館一島啓人博士の講演会を実施.
2004 年	8 月 化石体験館個人有料入館者数 30,000 人達成.
4 月 篠原暁学芸員再任.	2021 年
2005 年	4 月 長野あかね学芸員が着任.
4 月 沼田化石研究会が発展的に解散.	5 月 化石体験館個人有料入館者数 35,000 人達成.
2007 年	
9 月 ジュニア化石クラブが日本地質学会年会 (札幌) で活動を発表.	
2008 年	
6 月 沼田町化石館展示室が終了.	
7 月 幌新温泉隣接の旧陶芸館跡に沼田町化石体験館がオープン (7/19) .	
2009 年	
7 月 1 周年記念行事として徳川広和氏の講演会を実施.	

2022 年

- 3 月 スマタネズミイルカ新復元骨格が完成.
- 4 月 化石体験館展示リニューアル (4/29) .
企画展「スマタネズミイルカのできるまで」
を開催.
- 9 月 化石体験館個人有料入館者数 40,000 人
達成. (9/10)
化石体験館入館券のデザインを変更.

2023 年

- 4 月 沼田町化石館旧レプリカ工房を閉鎖.
沼田町文化財収蔵センターに収蔵庫と
レプリカ工房を移転.
- 8 月 化石体験館 15 周年特別ナイト
ミュージアムを開催.
体験室を利用した新たな展示スペース
「進化の径」を開設.
- 9 月 スマタネズミイルカ貸出用新復元骨格が
完成.
- 10 月 化石体験館開館 15 周年イベント, 「む
かしといまのネズミイルカまみれ」を開
催.
- 11 月 化石体験館の看板のデザイン変更.

2024 年

- 4 月 企画展「哺乳類の進化」を開催.
- 7 月 特別展「北海道の絶滅動物館の原画と化
石」開催.
特別展にかかる事業として浩而魅諭氏に
よる絵画ワークショップ「自分だけの古
生物を描こう」. 浩而魅諭氏, 一島啓人
博士, 木村方一名誉館長によるトークイ
ベント「復元画制作こぼれ話」を開催.

2025 年

- 3 月 長野あかね学芸員が離任

1-2. 設置目的

1. 沼田町の財産である化石を、町民に分かりやすく展示・普及すること。
2. 貴重な化石を地域で研究し、その成果を世界に向けて発信すること。
3. 学校や社会での要求が高まりつつある体験学習の場を提供し、その活動を支援すること。
4. 町内外の化石愛好者が交流を行う場を提供するとともに、その活動（友の会）の拠点となること。

1-3. 利用案内

沼田町化石館の施設は、レプリカ工房（市街地）と化石体験館（幌新地区）に分かれている。

（1）レプリカ工房

大型脊椎動物の復元骨格作製や化石を母岩から掘り出すクリーニング作業を行っている。2023 年 4 月に旧化石館を閉鎖し、同年 9 月より、沼田町文化財収蔵センターにて作業を行っている。

※見学は教育委員会への事前予約が必要です。

【休館日】土曜日、日曜日、祝日

【時 間】8:45～17:15

【電 話】0164-35-2132（沼田町教育委員会）

【住 所】〒078-2204 北海道雨竜郡沼田町西町 493-9（沼田町文化財収蔵センター）

（2）化石体験館

ほろしん温泉ほたる館周辺のほたるの里に位置する。館内では、沼田町から発見された脊椎動物化石の復元骨格や無脊椎動物化石の展示の見学に加え、化石に関する様々な教育プログラムを行うことができる。

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）、祝日の翌日、冬季（11/4～4/28）

【時 間】9:30～16:00（最終入場は 15:30）。

【料 金】個 人：大人 500 円/小中高生 300 円/幼児 200 円

団 体：大人 400 円/小中高生 200 円/幼児 200 円

観 覧 の み：大人 300 円/小中高生 100 円/幼児無料

年間パスポート：大人 800 円/小中高生幼児 400 円

※町民は無料。

【体 験】2-2, 教育普及（5）体験メニューを参照。

【電 話】0164-35-1029

【住 所】〒078-2225 北海道雨竜郡沼田町字幌新 381-1

1-4. 施設内容

2023年4月1日より、化石収蔵庫とレプリカ工房は、沼田町文化財収蔵センターに移動した。

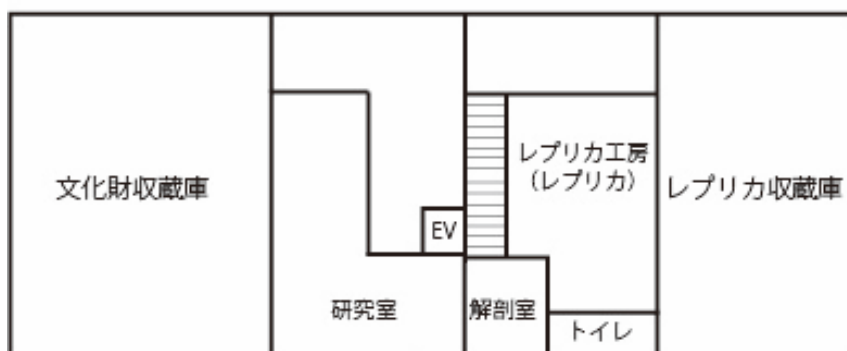
(1) レプリカ工房

【住所】〒078-2204 北海道雨竜郡沼田町西町 493-9 (沼田町文化財収蔵センター)

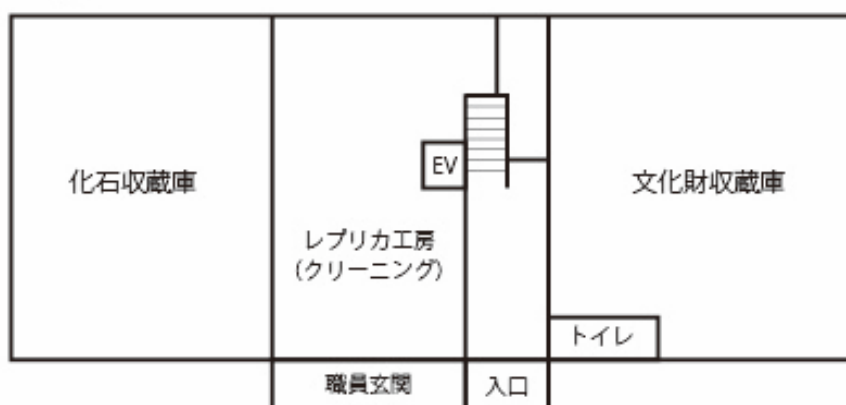
【面積】132.75 m² (クリーニング作業場：132.75 m², レプリカ制作作業場：202.5 m²)

階	室 名	面 積	機 能
1階	レプリカ工房 (クリーニング作業場)	132.75 m ²	化石の剖出作業を行う。
	化石収蔵庫	162 m ²	主に実物化石を収蔵する。
2階	レプリカ工房 (レプリカ制作作業場)	64.8 m ²	レプリカ制作を行う。
	レプリカ収蔵庫	202.5 m ²	レプリカ母型やレプリカを収蔵する。
	研究室	96 m ²	学芸員の研究室。同室内に剥製や書類資料を保管する。

《2階》



《1階》

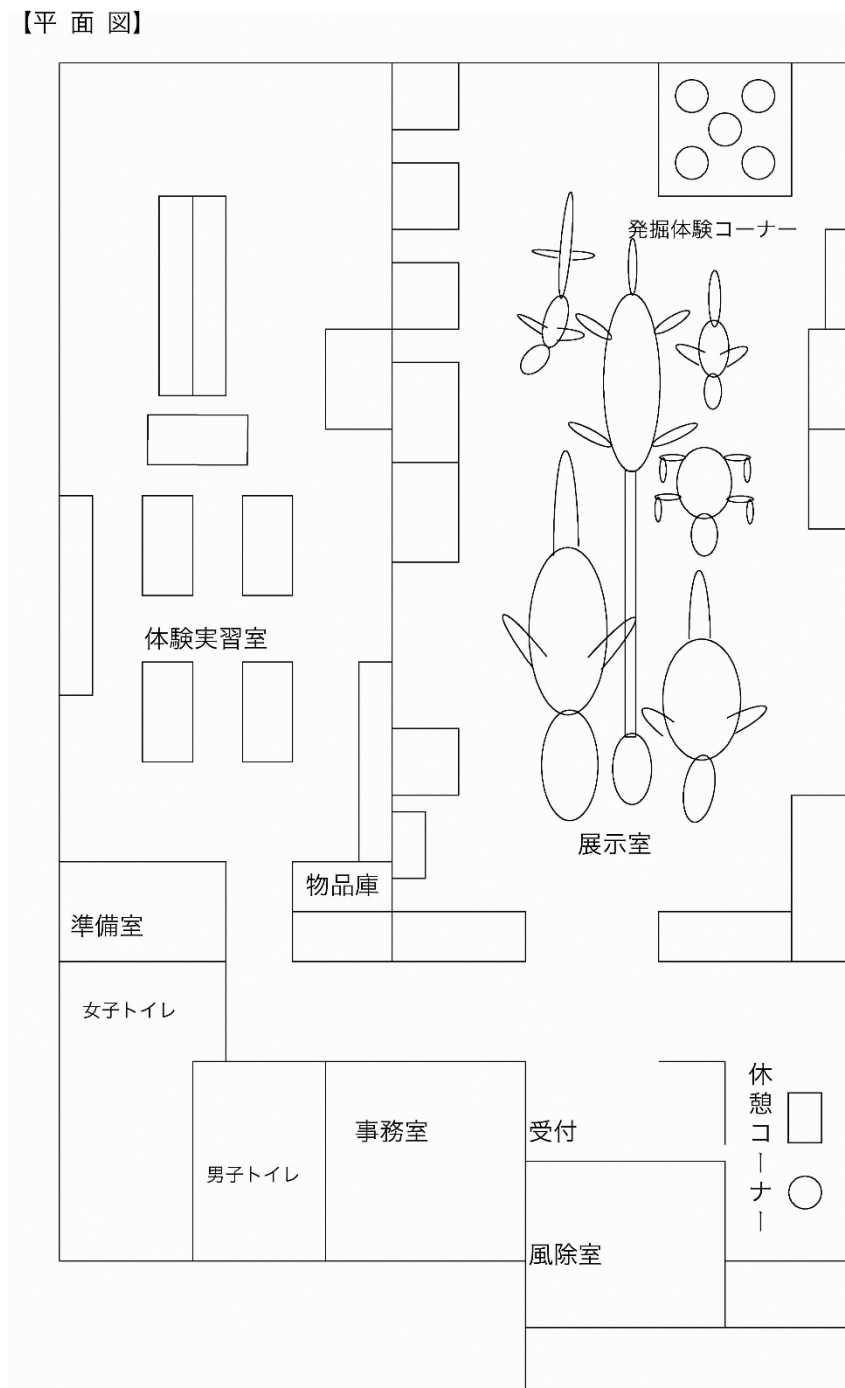


(2) 化石体験館

【住所】〒078-2225 北海道雨竜郡沼田町字幌新 381-1

【面積】333.6 m²

【平面図】



2. 事業

2-1. 展示

(1) 常設展示

■ヌマタネズミイルカ、ヌマタナガスクジラ、ヌマタカイギュウ、モササウルス、および首長竜の復元骨格模型。

■タカハシホタテをはじめとする新生代軟体動物、植物化石、生痕化石、およびアンモナイトをはじめとする中生代白亜紀軟体動物化石の実物化石。

■実物化石や岩石にさわることのできる「さわれる展示」。

(2) 企画展

春季に実施。展示エリア「進化の径」コーナーにて「哺乳類の進化」と題し、アジアゾウの頭骨やデスモチルスの全身骨格レプリカを展示し、新生代における哺乳類の多様化と大陸移動の関係を解説した。

(3) 特別展

夏季に実施。「北海道絶滅動物館の原画と化石」を開催。北海道の絶滅動物についてまとめられた本に掲載された原画と、登場した実物の化石を展示し沼田町生涯学習総合センターゆめっくる（7/12～7/28）と化石体験館（8/2～8/18）で開催した。

(4) 展示協力

■ほっかいどう恐竜・化石ネットワーク「はっけん！恐竜・化石大陸ほっかいどう 海の化石ミュージアム」

【開催場所】AOAO SAPPORO

【開催期日】10月1日（火）～12月8日（日）

ヌマタネズミイルカ全身骨格復元標本、ヌマタネズミイルカ復元図、および解説パネルを提供。



2-2. 教育普及

自然科学や化石にふれあうことを目的とした普及行事を、児童生徒から大人までを対象に実施している。

(1) 化石採取会

幌新太刀別川にてタカハシホタテなどの化石を1つ採取する。合計45名が参加した。

- ・第1回 【期日】6月29日(土) 【参加者】9名
- ・第2回 【期日】7月13日(土) 【参加者】11名
- ・第3回 【期日】7月15日(月・祝) 【参加者】12名
- ・第4回 【期日】7月21日(日) 【参加者】8名

(2) ジュニア化石クラブ

子どもたち自らが、関心をもってより深く学ぶことにより新たな気づきや興味を引き起こすことを目的に実施している。令和6年度は参加者不在の為中止。

(3) 学校等団体受け入れ

化石体験館では社会見学や修学旅行等の学校行事、および団体の受け入れを行っている。

【内 容】学芸員の解説による館内見学、ミニ発掘体験を行った。

【講 師】松井学芸員、長野学芸員

(4) 町内における普及活動

■新規赴任教職員地域研修受け入れ

【期 日】7月25日(木)

【参加者】新たに沼田町に赴任した沼田小中学校の教諭5名

【講 師】松井学芸員、長野学芸員

【内 容】松井学芸員の解説により幌新太刀別川、長野学芸員の解説により化石体験館の見学を行った。

■沼田小学校地層見学会

【期 日】9月20日(金)

【参加者】沼田小学校、小学6年生

【講 師】松井学芸員、長野学芸員

【内 容】幌新太刀別川におけるタカハシホタテの採取と地層の観察を行った。

■町民交流フェスタでのブース出展

【期 日】11月10日(日)

【場 所】町民会館

【参加者】町民128名

【内 容】コハクさがし

■第10回 CISE サイエンスフェスティバル in チ・カ・ホ

【期 日】2025年1月9日（木），10日（金）

【場 所】D-LIFEPLACE 札幌 B1

【参加者】約200名

【内 容】ヌマタネズミイルカやタカハシホタテといった沼田町を代表する化石を紹介した。

■沼田小学校「ぬまた学」への出前授業

【期 日】2025年1月29日（水）

【場 所】沼田小学校

【参加者】小学4年生

【講 師】長野学芸員，松井学芸員

【内 容】長野学芸員が，「化石館の世界一」というテーマで，ヌマタネズミイルカやタカハシホタテ化石を紹介した。松井学芸員が「沼田の歴史」について，先史時代や入植の歴史，現在の産業について紹介した。

（5）体験メニュー

化石体験館内実習室にて下記メニューを体験できる。令和6年度は展示替えのため館内で発掘体験キットの販売を行い，自宅で発掘体験をできるようにした。

・ミニ発掘 化石/原石/磨石

アンモナイトやサメの歯などの小さな化石や水晶などの鉱物の原石，磨石を埋め込んだ人造ノジュールを掘って中身を取り出すタイケンメニュー。有料入館者全員にミニ発掘を1回提供。1回に24名まで可能。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分

・ハイグレードミニ発掘 化石/クリスタル

通常のミニ発掘よりも質の高い岩石を用いた体験メニュー。入館料と別料金で，1回600円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分

・ウルトラグレードミニ発掘 化石/クリスタル

岩石が1つ埋め込まれた通常のミニ発掘に対し，化石や鉱物が複数個埋め込まれている体験メニュー。入館料と別料金で，1回1,000円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約20分

（6）講演

・浩而魅諭 絵画ワークショップ & トークイベント「復元画制作こぼれ話」

【期 日】7月27日（土）

【場 所】生涯学習センターゆめっくる

【参加者】31名

- 【講師】木村方一名誉館長，一島啓人氏（福井県立恐竜博物館），浩而魅論，長野あかね学芸員
- 【内容】ワークショップでは，2024 年 3 月に出版された『北海道絶滅動物図鑑』の挿絵を担当した画家・浩而魅論さん指導のもと，参加者はマンモスやカイギュウ，ティラノサウルスのような古生物や，アジアゾウをボールペンや色鉛筆を用いて復元した．トークイベントでは，『北海道絶滅動物図鑑』の制作秘話や絵が描かれていく過程，そして執筆者がこだわった部分について 1 時間ほど語った．

2-3. 広報出版活動

■広報誌

『沼田町化石館だより』を 6 回発行．体裁は A4 版両面モノクロ印刷で，毎回 1400 部印刷し，町内の全世帯に配布の他，化石体験館での配布を行った．カラー版は当館ホームページ及び沼田町教育委員会ブログで公開中．

- ・臨時号 化石体験館のゴールデンウィーク．
- ・142 号 ゴールデンウィーク大賑わいでした！今年もやってきた地層観察会（旧採取会）のご案内．
- ・143 号 体験館の夏休み予定．化石体験館夏休みカレンダー 2024．
- ・144 号 特別展の振り返り．ナイトミュージアム大盛況．
- ・145 号 新・体験メニュー爆誕．AOAO SAPPORO で展示中．
- ・146 号 スナメリ入りました．長野学芸員退職のご挨拶．

■オンラインでの広報活動

化石体験館ホームページ，SNS（フェイスブック）を通して適宜広報活動を行っている．最新のお知らせや，イベント情報などを掲載．

2-4. 研究

■プロジェクトの進捗と成果

現生ネズミイルカと化石ネズミイルカの比較を町内で完結できるようにするため，現生のネズミイルカ科であるスナメリの骨格標本を作成した．

2-5. 資料管理

■レプリカ作製

フカガワクジラ耳骨 4 点，トママエクジラ耳骨 2 点，ハボロネズミイルカ耳骨，下顎

■化石産出地保護

幌新太刀別川はヌマタネズミイルカやタカハシホタテ化石等の良質な化石産出地として知られており，沼田町教育委員会では幌新太刀別川を町の文化財として指定することで化石産出地を管理してきた．しかし，幌新太刀別川では無許可による化石採取，持ち出しが依然として行われており化石産出地の荒廃が進んでいる．

この状況をうけ，沼田町教育委員会では化石館を主体として令和 3 年度より化石産出地及び化石の保護・保全体制を再検討し，町内における体験学習や学術調査等を目的とした地質調査・化石発掘を

審査，承認することになった。

申請者は年報に付属の『地質調査・化石発掘承認申請書』をコピー，または以下 URL より用紙のダウンロードが必要である。必要事項の記載後，返信用封筒を同封のうえ沼田町教育委員会へ申請書を送付するか，申請書を Fax で送信し，教育委員会による申請者への承認証の返信をもって正式に交付される（申請書は PDF/Word ファイル対応）。

3. 運営管理

3-1. 化石体験館利用状況

		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	年間合計
利用者数		628 人	311 人	1,553 人	1,408 人	691 人	415 人	5,006 人
前年同月		673 人	360 人	1,104 人	1,032 人	477 人	431 人	4,077 人
無料利用者	幼 児	28	8	52	21	13	17	138
	学 生	38	32	99	52	78	59	358
	一 般	117	65	350	128	100	73	833
	小 計	183	105	501	201	191	149	1330
観覧のみ利用者	幼 児(0)	21	8	54	54	23	11	171
	学 生(150)	29	8	69	50	13	4	173
	一 般(300)	173	80	331	334	132	100	1,150
	小 計	223	96	454	438	168	115	1,494
通常利用者	幼 児(0)	13	8	10	31	7	9	78
	学 生(300)	62	23	35	116	24	19	279
	一 般(500)	60	25	36	130	59	39	349
	小 計	135	56	81	277	90	67	706
団体利用者	幼 児(0)	5	3	41	53	6	6	114
	学 生(200)	23	16	295	212	135	30	711
	一 般(400)	59	35	181	227	101	48	651
	小 計	87	54	517	492	242	84	1,476

※ 4 月利用分は 5 月に、11 月利用分は 10 月にそれぞれ含まれる。

3-2. 組織と職員

【令和 6 年度職員構成】（令和 7 年 3 月 31 日現在）

名 誉 館 長 木村 方一 （北海道教育大学名誉教授）

館 長 春山 顕一 （教育委員会参事兼務）

学 芸 員 松井 佳祐

学 芸 員 長野 あかね

特別学芸員 田中 嘉寛 （札幌市博物館活動センター学芸員）

教育委員会事務局兼務

主 幹 斎藤 真二

主 査 木次 大介

主 事 芦名 美彩

化石体験館

会計年度任用職員 なし

レプリカ工房

会計年度任用職員 高山陽子

会計年度任用職員 長井ゆかり

沼田町化石館年報 第 24 号

発行日 2025 年 9 月 30 日

発行者 沼田町化石館

執筆・編集 松井佳祐

〒078-2202

北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目6番5号

沼田町生涯学習総合センター(沼田町教育委員会)

電話 0164-35-2132 Fax 0164-35-1210

Mail: kaseki@guitar.ocn.ne.jp

※本誌は沼田町化石館のホームページから pdf としてダウンロードできます